

9月9日は救急の日

～応急手当WEB講習（e-ラーニング）について～

パソコンやスマートフォンなどでインターネットを通じ、心肺蘇生法やAEDの使い方など応急手当の基礎的な知識を約1時間で学ぶことができる講習です。字幕・音声付き動画による説明のため、救命講習が初めての方でもわかりやすい内容となっております。また「応急手当WEB講習」で事前学習をしていただくと、普通救命講習Ⅰの講習時間が通常の3時間から2時間に短縮され、これまで時間制約などにより救命講習を受講できなかった方も受講しやすくなります。救命講習を受講する前の事前学習や復習のための教材としてご利用ください。

○応急手当WEB講習へのアクセス方法は、総務省消防庁【応急手当WEB講習ページ】または小平町ホームページ【小平消防署の「救急係より」】よりアクセス可能。

※注意：通信料は利用者様のご負担となります。



※現在、小平消防署では新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、収束するまでの間、救命講習の受付を見合わせております。受講を予定されている方は講習再開までの間、e-ラーニングを活用していただき、有事に備えてください。なお、講習の受付が再開しましたら「広報おびら」にてお知らせいたします。



～救急車の適正利用について～

小平町では令和2年中に127件の救急出動があり、実際に救急車で搬送された方の人数は124人です。このうち53人（43%）が入院の必要のない方（軽症者）でした。

不適切な救急車の利用は、緊急性があり本当に救急車を必要としている方に対し、適切な救命処置等が遅れ、救える命が救えなくなる可能性があります。しかし、以下のような場合にはためらわずに救急車を呼びましょう。

おとな

- 顔**
 - 顔半分が動きにくい、または、しびれる
 - ニッコリ笑うと口や顔の片方がゆがむ
 - ろれつがまわりにくく、うまく話せない
 - 見える範囲が狭くなる
 - 突然、周りが二重に見える
 - 顔色が明らかに悪い
- 手足**
 - 突然のしびれ
 - 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる
- 頭**
 - 突然の激しい頭痛
 - 突然の高熱
 - 支えなしで立てないぐらい急にふらつく
- 胸や背中**
 - 突然の激痛
 - 急な息切れ、呼吸困難
 - 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2～3分続く
 - 痛み場所が移動する
- おなか**
 - 突然の激しい腹痛
 - 激しい腹痛が持続する
 - 血を吐く
 - 便に血が混ざるまたは、真っ黒い便が出る

こども(15歳以下)

- 顔**
 - くちびるの色が紫色
 - 顔色が明らかに悪い
- 胸**
 - 激しい咳やゼーゼーして呼吸が苦しそう
 - 呼吸が弱い
- 手足**
 - 手足が硬直している
- 頭**
 - 頭を痛がって、けいれんがある
 - 頭を強くぶつけて、出血がとまらない、意識がない、けいれんがある
- おなか**
 - 激しい下痢や嘔吐で水分が取れず食欲がなく意識がはっきりしない
 - 激しいおなかの痛みで苦しがる
 - 嘔吐が止まらない
 - 便に血がまじった

◎問い合わせ先 留萌消防組合小平消防署（☎ 56-2221）、鬼鹿支署（☎ 57-1253）